

# 駆除方法

## 1 直接幼虫を取り除く



幼虫のついてる  
葉を切り取る



箸や火バサミで  
幼虫をつまむ

- ❗ 取り除いたドクガは、ビニール袋に二重または三重に密封して、燃やせるゴミに出しましょう。

## 2 熱湯をかける



やかんに沸かした熱湯を  
幼虫にゆっくりとかける

- ❗ 植物が枯れる場合があります。
- ❗ 幼虫の死がいにも毒針毛どくしんもうは残っています。熱湯で処理した後も、むやみにその場所に立ち入ることは避けましょう。

# 駆除方法

## 3 薬剤を使う

ホームセンターや園芸店、薬店などで「毛虫用」として販売されている殺虫剤を使って駆除しましょう。

(有効成分の例 イソキサチオン、フェニトロチオン、フェンチオン他)

- ❗ 薬剤が皮膚につかないようにしましょう。
- ❗ 幼虫の死がいにも毒針毛どくしんもうは残っています。薬剤散布後も、むやみにその場所に立ち入るのは避けましょう。

### 薬剤の種類

#### ● 乳剤・水和剤タイプ

散布機を用いて、薬剤を散布する方法です。薬剤は、決められた濃度に薄めて使用します。



散布機の例

#### ● スプレータイプ

幼虫に直接吹きかけて使います。

- ❗ 屋内で成虫に使用すると、毒針毛どくしんもうをまき散らすので、使用しない方が良いでしょう。



殺虫剤の例

# 薬剤を散布する時は

散布する時は、**風の弱い日を選び、できるだけ風上から散布**しましょう。

- ❌ 家の戸や窓は、閉めましょう。
- ❌ 食べ物や洗濯物、おもちゃなど、薬剤がかかってはいけないものは屋内にしまいましょう。

**必ず使用上の注意をよく読み、使用方法を守って、周囲の迷惑にならないよう十分注意**しましょう。

- ❌ 薬剤は、ドクガだけでなく、人や他の生き物・植物にも影響を与えます。



## ● ドクガを発生させないためには？

### 草刈をする

幼虫の活動が活発になる前の、4月下旬から5月ごろに草刈をすると効果的です。

### その他

自然界には、ドクガの天敵となるハチや寄生バエなどがいます。自然界のバランスを保つこともドクガの大量発生防止につながります。